

# ツアーレポート ピレネー・ハイキング9日間

2013年6月12日(水)～20日(木) 添乗員:早坂

6月12日(水) 新千歳 ✨ インチョン ✨ パリ・シャルルドゴール

大韓航空にてインチョン経由(のりかえ)、パリ・パリ・シャルルドゴール空港へ。

空港エリアの「コンフォートホテル」にチェックイン。特筆すべきは、このホテルのシャワールーム。

驚くほど狭い上になんと壁が三角形なので、身体を洗っているとそこかしこに腕や足がブチ当たるのです！

6月13日(木) パリ ✨ トールーズ ～ ガバルニー

南西フランス、ミディピレネー地方のトールーズに到着。迎いのバスでピレネー山脈のど真ん中、ガバルニーへ。

途中、アデの村で美味しいブッフェの昼食。レストランの親父さんは「ビールやワインも込みだ、どんどん吞んで食べる！」と言う。食後は“アルマニャック(アルマニャック地方で醸造されるブランデー。コニャックと肩を並べる、フレンチブランデーの二大銘酒の一つ)”を出して来て、「まあ、吞め！他にも色々あるぞ！」と、すこぶる気前が良い。

夕刻、ガバルニーに到着。濃霧で視界100m、もちろん山は見えない。



これが噂の“アルマニャック”



美味しい料理に皆ゴキゲン！



愛すべきムッシュの店



1階はレストラン、2階はホテル

## 6月14日(金) ♣→☀ ガバルニーでハイキング

ピクニックランチを受け取って出発。教会から中腹の道を行く。足元にはたくさんの高山植物が。牛や羊が放牧されているプラトー・ベルビュー。その後、シルク Cirque まで、良い眺め。午後は素晴らしい晴天になりました！ホテルで生ビール(Leffe)。最高！夕食はこの地方の名物料理「カスレ(白インゲン豆+肉と野菜の煮込み料理)」をいただきました。美味！



ガバルニーの大圏谷を望む



アビビール代表格“レフ”の生



ガバルニーのメインストリート



南西フランスの料理“カスレ”

## 6月15日(土) ♣→☀ ビニユマーレ峰のハイキング

スペイン橋からゴープ湖へ。岩盤の上でビニユマーレ北壁を見ながら昼食。ハイキング後はカトリックの聖地「ルルド Lourdes」へ。夕食後は、ルルドに来たなら絶対外せない、聖域で行われる“プロセッション”を見に行く。世界中から救いを求めて集まる何千人という人々。キャンドルトーチを手に祈る人、介護する人、観る人…実に荘厳な光景。これが夏の間毎晩繰り返されると言うから驚きです。ルルドはパリに次いでホテルの数が多いという。



ゲンチアナ(りんどう)の群落



美しいゴープ湖



ゴーブ湖からビニユマーレ北壁



スペイン橋

## 6月16日(日) ☀ ルルド〜ピック・デュ・ミッドツ ハイツ〜トルラ

ホテル1階のレストランは古い調度品や食器類がよい味を出している。ぜんぜん英語が通じないウェイトレスのオバサンたちも小気味良い。ビオウザールテーグ湖からビオウ橋へ。快晴の下、広く平坦なお花畑を行く。強烈な日差しは頭がクラクラしてくるほど。その後、フランス・スペイン国境のポルターレ峠を越え、オルデサ国立公園の入り口トルラへ。



ビオウ橋付近からドツソオ峰



豊富な雪解け水



ワスレナグサ

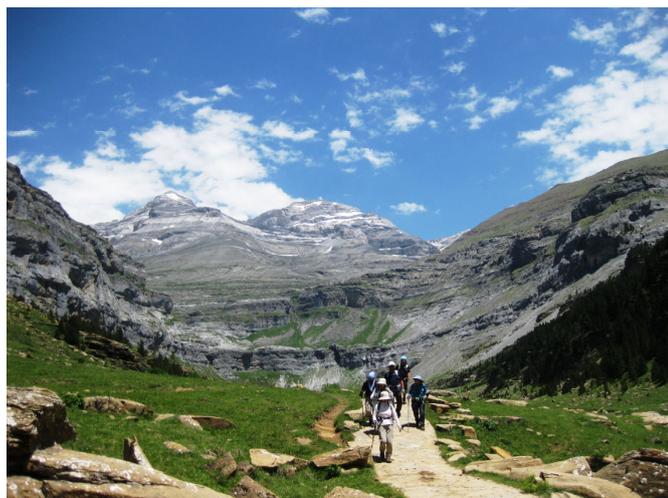


キンポウゲの大群落の中へ

6月17日(月) ☁️→☔️

## オルデサ溪谷のハイキング

あいにく天気予報は午後から雨。オルデサの大駐車場からスタートし、巨大なU字谷を遡って行く。食虫植物のムシトリスミレが満開。グスタスアソの河原で小休止。谷の奥にシルコ(カール状)が見えるが、曇天のためあまり目を引く景色ではない。それより、すぐ近くの側壁から幾筋も流れおちる水量豊富な滝のほうが見応えある。昼食後、往路を下山。



オルデサ溪谷の最上部はやはりカール(圏谷)



葉の粘液で昆虫をとるムシトリスミレ

6月18日(火) ☔️ トルラ~バルセロナ



モンジュイックの丘からスペイン広場を見る



内部はほぼ完成に近いと言う(サグラダファミリア)



ゴシック地区の夜は更けて



賑やかなランブラス通り

6月19日(水) バルセロナ✈️パリ✈️  
6月20日(木) インチョン✈️新千歳